令和４年度　学校評価アンケート・児童アンケートのまとめ

亀岡市立大井小学校

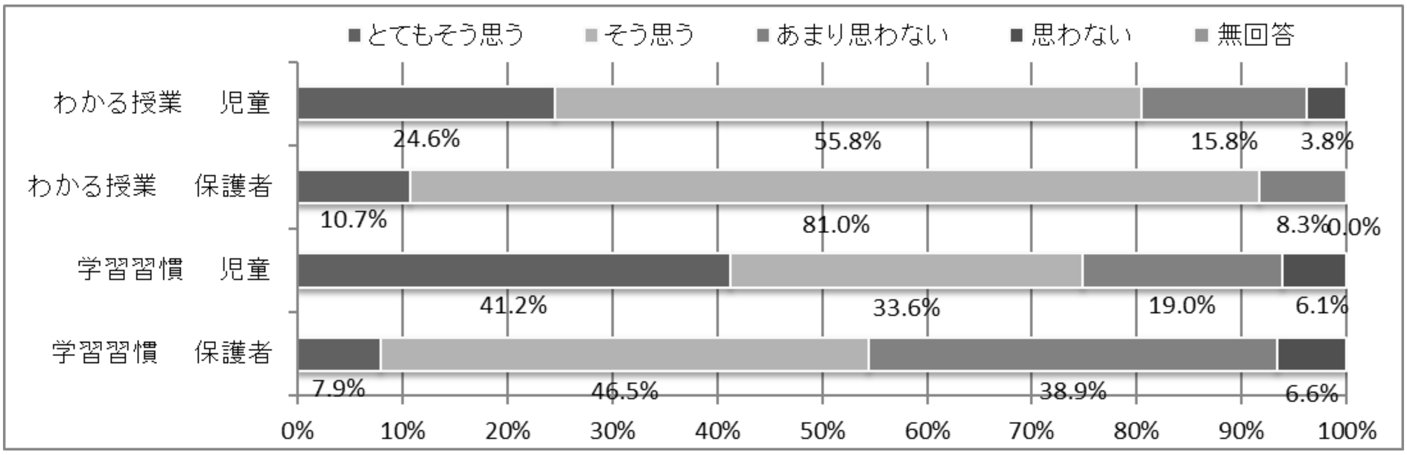
過日、実施いたしました「学校評価保護者アンケート」では、お忙しい中、約８１％の保護者の皆様よりご意見をいただきました。本当にありがとうございました。

昨年度よりも、少しずつ様々な学校行事や学習活動等が新型コロナウイルス感染症の拡大前の形に戻りつつある中、保護者の皆様にたくさんのご理解、ご協力をいただきながら、１年の学校運営を行ってまいりました。しかしながら、まだまだ制限のある中でのアンケートのため、答えにくい項目もいくつかあったと思いますが、ご協力をいただき感謝しております

学校評価アンケートの結果を分析することを通して、来年度に向けた課題点を明らかにし、大井小学校の教育を一層充実させていきたいと、教職員一同気持ちを新たにしております。

以下の通り、分析結果をまとめました。

わかる授業	児　童	学校の勉強は、わかりやすい。
	保護者	学校は、学習内容が理解できるように授業の工夫をしている。
学習習慣	児　童	わたしは、宿題をわすれずにやっている。
	保護者	お子さんは、進んで家庭学習を行うことができている。



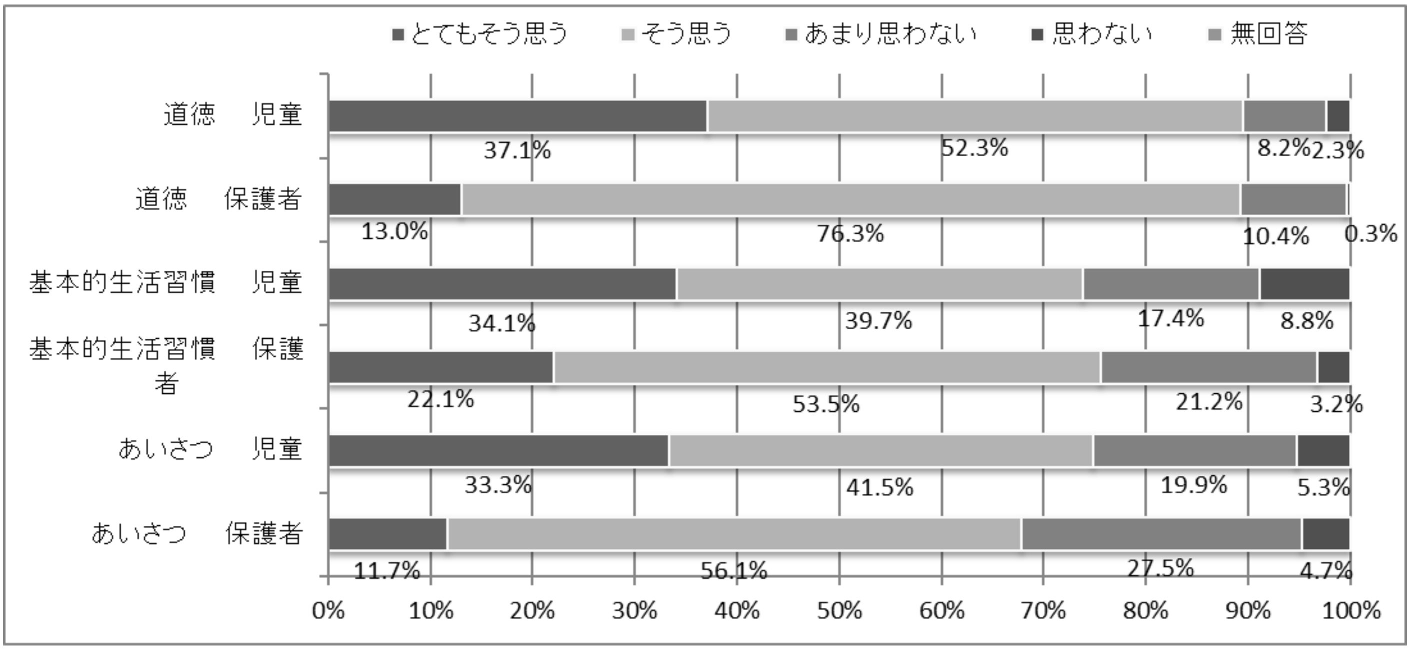
学習に関する項目「わかる授業」では児童、保護者ともに、多くの肯定的な意見をいただきました。

本校では、「生き生きと表現し、主体的に学習する子どもを育成する」を主題として授業研究を進めてきました。新型コロナウイルス感染防止のため人数を制限したり、距離をとったりしながら、グループで討議をしたり学習発表をしたりする機会をもちました。また、タブレット端末を活用した学習も行い、少しでも理解が進むように努めてきました。「わかる授業」についての児童のアンケートでは、肯定的な意見が８０％以上という結果を得ることができました。しかし、約１９％もの児童は学習へのつまずきを感じていることも結果から見受けられました。基礎的基本的な力を身につけるための学習を繰り返し行ったり、具体物を用いたりして、「わかる」「できた」「楽しい」と思える授業作りを今後も進めていきたいと思います。

「学習習慣」の項目では、保護者アンケートにおいて、昨年度よりも肯定的な意見が７．７％減少しました。また、約４５％の保護者からは「進んで宿題をしていない」との回答をいただいております。この結果から、昨年度と同様に自立した学習への取り組み方や習慣化に課題があると捉えています。今年度の漢字練習の宿題では、「けテぶれ」という取り組み方を行いました。自分なりの学習方法を探しながら宿題を行って

いくことで、自主性を高め、習慣化させていくという狙いで取り組んでまいりましたが、まだまだ取り組みはじめて１年であり、全ての児童に成果がでるという結果には至りませんでした。「大井に学び」でよく取り組まれている「けテぶれ」の紹介を配布してきましたが、これらとともに、宿題が学習の定着のためにとても大切であることを伝え、遊びの時間、テレビの視聴等の使用の仕方を見直すことなど、家庭との協力のもと進めていきたいと思います。ぜひ、こうした課題について、ご家庭でもお話いただき、引き続きご協力をお願いしたいと思います。

道徳	児　童	わたしは、学校で学んだ思いやりの心をもって行動したり、社会のマナーやルールを守ろうとしたりしている。
	保護者	学校は、思いやりの心、社会のマナーやルールを守る態度を育てている。
基本的生活習慣	児　童	わたしは、早寝・早起きをして、朝ごはんを食べて登校している。
	保護者	お子さんは、早寝・早起き・朝ごはんの習慣が身についている。
あいさつ	児　童	わたしは、進んであいさつをしている。
	保護者	お子さんは、進んであいさつをしている。

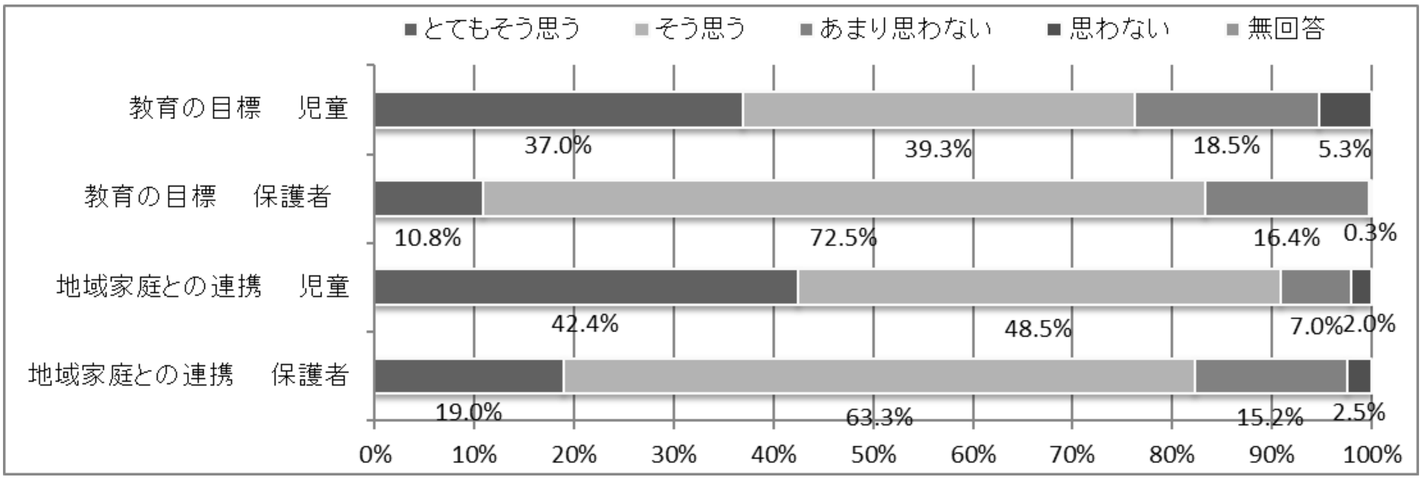


「道徳」の項目について、児童と保護者ともに高い評価をいただきました。しかしながら、児童・保護者ともに昨年度と比べると肯定的な意見が約５％低下している状況です。今後もルールやマナーを守ることの大切さについて、授業や学校生活を通して伝えていきたいと思います。

「基本的生活習慣」に関しては児童８．４％、保護者３．２％、昨年度より減少しました。保健だより等で生活に関するお知らせをしてきました。寝る時刻や起きる時刻の意識化を図り、基本的な生活習慣を身に付けていけるよう、ご家庭の協力を得ながら、学校でも指導していきたいと思います。

「あいさつ」の項目は、保護者の皆様から昨年度より、２．５％肯定的な評価をいただきました。しかしながら、児童については昨年度と比べて８．０％肯定的な意見が減少している状況です。来年度以降、挨拶運動の実施や、職員からの積極的な挨拶を行うなど、挨拶をしているという実感を、児童自身が感じられるような取組を進めていきたいと思います。

教育の目標	児　童	わたしは、学級（学年）の目標を知っている。
	保護者	学校の教育方針は、わかりやすい。
地域家庭との連携	児　童	先生は、学校の様子を学校便りや学年・学級通信などで、家の人にわかりやすくつたえてくれている。
	保護者	学校は、学校や子ども達の様子等の情報を家庭に知らせるよう努めている。

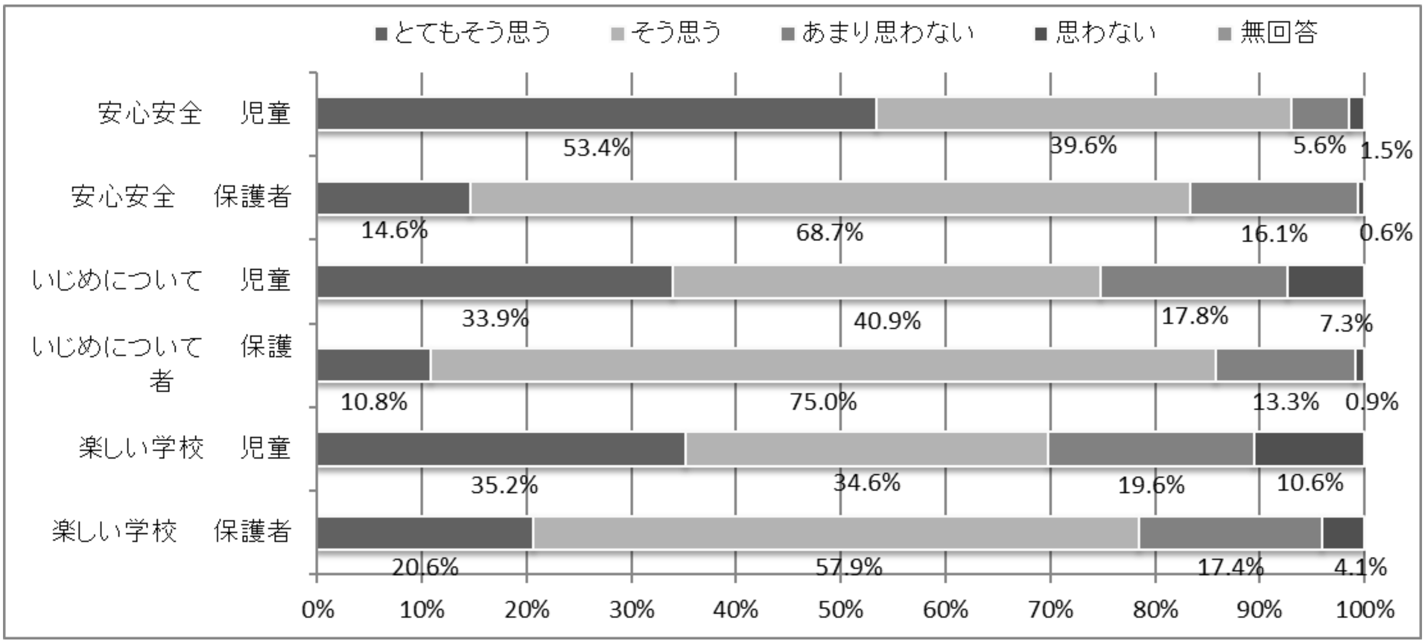


「教育の目標」や「学級目標」など、自分が目指すところが明確になることで、教育効果は高まります。児童に対しては、常に学級目標や学年目標に立ち返りながら日々の取組を進め、児童の成長を見つめていきたいです。また、地域、家庭、学校が目指すところを共有し、一丸となって協働していけるよう、今後も方針を明確化させていきたいと思います。

「地域家庭との連携」では、昨年度よりも保護者のみなさまからの肯定的な意見が２．２％減少しています。今年度は、昨年度よりも参観日や運動会の実施など、学校に足を運んでいただき、子どもたちの様子を見ていただく機会こそ増えましたが、コロナ禍により名簿番号での分散参観や学年ごとの運動会参観など、制限のある中での実施となったことが影響しているのかと思います。

また、普段の学校での様子を知らせてほしいというご意見も聞かせていただいています。通信や電話連絡等になりますが、今後もできる限り児童の様子をお伝えしていけるよう心がけていきたいと思います。

安心安全	児　童	わたしは、避難訓練や交通教室に真剣に取り組んでいる。
	保護者	学校は、子どもの安全を考えた指導や訓練を行っている。
いじめ	児　童	わたしは、いじめなどを心配せず、学校で安心して生活している。
	保護者	学校はいじめのない学級づくりに取り組んでいる。
楽しい学校	児　童	わたしは、学校に来るのがたのしい。
	保護者	お子さんは、学校に行くことを楽しみにしている。



「安心安全」の項目は大変多くの肯定的なご意見をいただきました。しかし、昨年度と比べると保護者の肯定的な意見が２．６％減っており、中には、下校の仕方について心配をしているというご意見もいただいています。本校では、交通教室を毎年春に行い、歩道の歩き方や自転車の乗り方など、交通安全の確認を行ったり、下校時にも安全に関しての声かけ等を行ったりしています。ぜひご家庭でも話題に出していただき、登下校の様子についてお話いただければと思います。また、それらの学びが、子ども達の行動につながるよう、引き続き声かけを行っていきたいと思います。登下校時には民生委員さんや地域の方のご協力をいただき、安全を見守っていただいておりますこと大変感謝しております。

「いじめについて」は、２５．１％の児童が不安を抱えていることが結果から見えてきました。また、「楽しい学校」の項目についても、児童・保護者共に肯定的な回答が減少しています。コロナ禍の中ですが、子ども達が生き生きと活躍できるような取組や授業改善を行ってきました。来年度も、児童がわくわくし、チャレンジしたくなるような取組や活動、そして、これまでの取組に工夫を加えるなど、新しい生活様式の一つとして考えていく必要を感じています。また、今後も、授業の工夫をしたり、クラス遊びや学級活動の時間においての仲間作り、異年齢交流での縦のつながり、特別な教科「道徳」の時間で仲間とのつながりや相手を思いやる気持ちを育てたりするなど、さまざまな学習や活動を通して、楽しい学校づくりをすすめていきたいと思います。それと同時に、全教職員で目を配り、耳を傾け、学校が児童にとって安心できる場であるよう努めていきます。

アンケートの記述欄には貴重なご意見を多数寄せていただきました。感謝申し上げます。

今回のアンケートの考察を通して、今後も子どもたちの現状をしっかりと見据えながら、より一層我々教師が協働して子ども達の教育にあたっていかなければと考えております。

記述欄には、コロナウイルス感染症の拡大防止対策に関して、学校への激励の言葉を多数いただき、保護者の皆様に支えられていることを強く感じました。ありがとうございました。また、学校として今後検討が必要な内容や、地域・家庭のご協力がなければ改善に至らないご意見もありました。特に現代は、社会の変化が激しく、価値観が多様化しています。だからこそ、学校と保護者、地域がしっかりと手を携え、安心して包み込まれているという感覚を実感できる環境で児童を育てていきたいと考えています。

保護者の皆様方からいただいたご意見をもとにして、改善できるところから取り組んでいくとともに、来年度の学校運営をさらに充実したものにしていきたいと考えております。

ご協力ありがとうございました。